

令和8年度 事業概要書		所管課	まちづくり推進課
事業名	ホームページリニューアル事業	予算書	38頁
事業費	9,185千円		
財源内訳	特 定 財 源 の 内 訳		
	名 称	金 額	
	地域未来交付金	4,550	
	丘のまちびえいまちづくり基金繰入金	4,000	
	特 定 財 源 合 計	8,550	
一 般 財 源	635		
事業概要	<p>現行ウェブサイトの構造が複雑で検索性やスマートフォン対応に課題があることから、全面的なリニューアルを行い、「町民にやさしく」「観光・移住・ふるさと納税にも強い」ウェブサイトの実現を図る。</p>		
事業内容・効果等	<p>○目的・効果 ホームページのリニューアルを実施し、情報到達率の改善（主要情報に3クリック以内で到達）や問い合わせ対応の効率化（AI応答による軽減）、イベント・補助金情報の発信力強化、町民・観光・移住・事業者情報の整理による利便性向上を図る。</p> <p>○内容 ホームページのリニューアルに伴う初期構築</p> <p>○費用内訳 委託料 9,185千円</p>		

令和8年度 事業概要書		所管課	総務課
事業名	車両管理事業	予算書	38頁
事業費	11,469千円		
財源内訳	特定財源の内訳		
	名称	金額	
	公有自動車賠償共済金	1	
	建物災害共済・自動車損害共済分担金	60	
	特定財源合計	61	
一般財源	11,408		
事業概要	公用車の配備・運行・点検整備・保険契約等を一体的に管理し、安全かつ効率的な運用を確保するもの。		
事業内容・効果等	<p>○目的・効果 公用車を適正に管理することで、事故リスクの低減や燃料費・修繕費等の維持コストの適正化に期待できる。</p> <p>○内容及び費用内訳</p> <p>1 需用費</p> <p>(1) 消耗品費 403千円 (タイヤ、ワイパー等)</p> <p>(2) 燃料費 2,568千円 (ガソリン、軽油、灯油等)</p> <p>(3) 修繕料 1,276千円 (車検、修理等)</p> <p>2 役務費</p> <p>(1) 手数料 163千円 (車検印紙等)</p> <p>(2) 保険料 3,730千円 (任意保険、自賠責保険等)</p> <p>3 使用料及び賃借料</p> <p>賃借料 1,584千円 (7人乗りハイブリット車1台)</p> <p>4 補償費補填及び賠償金</p> <p>損害賠償金 1千円</p> <p>5 公課費</p> <p>自動車重量税 1,744千円</p>		

令和8年度 事業概要書		所管課	まちづくり推進課
事業名	地域公共交通計画策定事業	予算書	40頁
事業費	8,748千円		
財源内訳	特定財源の内訳		
	名 称	金 額	
	地域公共交通アップデート化推進事業補助金	4,370	
	特定財源合計	4,370	
	一般財源	4,378	
事業概要	<p>既存の公共交通網の再整備を検討するために、町民アンケート等をもとに現状を把握し、さらに公共交通に関わる協議会を設立した上で議論しながら、今後の公共交通のあり方を記載する公共交通計画を策定する。</p>		
事業内容・効果等	<p>○目的・効果 本町の公共交通における現状を把握し、将来的な町の方針やデマンド交通整備等の解決策を計画することで、スクールバス車両の老朽化や運転手の確保、民間交通機関の路線維持、高齢化による移動手段の確保等の課題解決のための目標を示すことができる。なお、生活交通に関する様々な意見を計画に反映するため、本事業については民間交通機関や観光・福祉・商工業等の関係者のほか、町民が加盟する協議会形式で実施する。</p> <p>○内容 公共交通計画の作成に関しては民間企業への業務委託により実施する。町民アンケートの実施やビッグデータの活用による現状分析の後、公共交通網の在り方・方針を示すとともに、他地域事例等を踏まえた新たな交通手段の構築を提案し、持続可能な本町の公共交通の計画を策定する。</p> <p>○費用内訳 負担金補助及び交付金 美瑛町地域公共交通活性化協議会補助 8,748千円</p> <p>○その他 地域公共交通アップデート化推進事業補助金（国土交通省）に申請予定。補助率2分の1、上限1,000万円。</p>		

令和8年度 事業概要書		所管課	まちづくり推進課	
事業名	日本で最も美しい村推進事業		予算書	42頁
事業費	3,090千円			
財源内訳	特定財源の内訳			
	名 称			金 額
	丘のまちびえいまちづくり基金繰入金			3,000
	特定財源合計			3,000
	一般財源			90
事業概要	<p>「日本で最も美しい村」美瑛町の景観をはじめとした地域資源やまちの魅力在全国に発信し、関係人口創出による地域の活性化を図るとともに、美しい村づくり活動を通じて、住民とともに誇りと愛着を持てる自立したまちづくりを推進する。</p>			
事業内容	<p>○目的・効果 「日本で最も美しい村」連合の活動理念に基づき、本町の地域資源である景観、環境及び文化の保全並びにその活用を図るため、町民とともに日本で最も美しい村活動を推進することを目的とする。 美瑛町の魅力在全国へ発信するとともに、関係人口の創出により地域の活性化、住民の地域に対する誇りや愛着を醸成することで、自立したまちづくりの推進に寄与する。</p>			
効果等	<p>○内容 住民や加盟自治体と協力・連携をしながら美しい村づくりを推進する。</p> <p>○費用の内訳</p> <p>1 旅費（「日本で最も美しい村」連合会議等） 620千円 (1) 総会：香川県 122千円 (2) 担当者会議（2回）：東京都内 183千円 (3) 現地学習会 146千円 (4) 北海道連携会議等：札幌市他 169千円</p> <p>2 需用費 530千円 (1) 季刊誌 日本で最も美しい村新聞 72千円 (2) 国道237号線看板撤去 458千円</p> <p>3 負担金補助及び交付金 1,940千円 (1) 美瑛町日本で最も美しい村づくり協議会活動補助 950千円 (2) 「日本で最も美しい村」連合会費 790千円 (3) 北海道連携会議負担金 200千円</p>			

令和 8 年度 事業概要書		所 管 課	まちづくり推進課										
事業名	地域脱炭素推進事業		予算書 42頁										
事業費	39,744千円												
財源内訳	特 定 財 源 の 内 訳												
	名 称		金 額										
	丘のまちびえいまちづくり基金繰入金		7,000										
	地域づくりセミナー開催支援金		269										
	地域脱炭素移行・再エネ推進交付金		25,565										
	地域づくり総合交付金		4,800										
	住まいのゼロカーボン化推進事業補助金		1,875										
特 定 財 源 合 計		39,509											
一 般 財 源		235											
事業概要	2050年脱炭素社会の実現に向けて、本町における二酸化炭素削減目標を見据えた事業推進を図る。												
事業内容・効果等	<p>○目的・効果</p> <p>ゼロカーボンシティの実現のため、地球温暖化対策実行計画に基づき、省エネ・再エネをより一層の推進を図るとともに、町内の環境保全に対する意識醸成を図るための各種取組を実施する。</p> <p>○内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 美瑛町ゼロカーボン推進協議会運営事業 2 地域新電力会社設立支援業務委託 3 再生可能エネルギー発電設備等導入補助事業 <p>○実績・経過</p> <p>令和6年度から再生可能エネルギー設備等導入事業補助金を実施。</p> <p>※令和7年度再生可能エネルギー設備等導入事業補助金実績</p> <p>住宅用太陽光発電設備・定置用蓄電池設備：4件 木質燃料ストーブ：4件 電動生ごみ処理機：5件</p> <p>※電動生ごみ処理機は令和8年度より住民生活課に移行</p> <p>○費用内訳</p> <table> <tr> <td>報酬</td> <td>81千円</td> </tr> <tr> <td>報償費</td> <td>120千円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>308千円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>9,790千円</td> </tr> <tr> <td>負担金補助及び交付金</td> <td>29,445千円</td> </tr> </table>			報酬	81千円	報償費	120千円	旅費	308千円	委託料	9,790千円	負担金補助及び交付金	29,445千円
報酬	81千円												
報償費	120千円												
旅費	308千円												
委託料	9,790千円												
負担金補助及び交付金	29,445千円												

令和 8 年度 事業概要書		所 管 課	まちづくり推進課
事業名	重点対策加速化事業	予算書	4 2 頁
事業費	3 6 , 4 8 8 千円		
財源内訳	特 定 財 源 の 内 訳		
	名 称	金 額	
	地域脱炭素移行・再エネ推進交付金	36,488	
	特 定 財 源 合 計	36,488	
	一 般 財 源	0	
事業概要	<p>脱炭素社会の実現に向けて、本町における 2050 年までの二酸化炭素削減目標を見据えた事業推進を図るため、地域特性を活かしながら、再生可能エネルギーの導入を重点的に進める。</p>		
事業内容・効果等	<p>○ 目的・効果 温室効果ガスの排出量の削減を図るため、地域内で発電した電力を地域内で活用する「エネルギーの地産地消」を推進することを目的とする。</p> <p>○ 内容・計画 美瑛川流域において、小水力発電設備を整備する。事業期間としては、令和 8 年度から令和 12 年度を計画。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 8 年度 調査・測量 ・令和 9 年度 実施設計 ・令和 10 年度 工事（1 年目） ・令和 11 年度 工事（2 年目） ・令和 12 年度 工事（3 年目） <p>○ 費用内訳 負担金補助及び交付金 36,488 千円</p>		

令和 8 年度 事業概要書		所 管 課	総務課
事業名	地域活動推進一括交付金事業	予算書	42頁
事業費	17,247千円		
財源内訳	特 定 財 源 の 内 訳		
	名 称	金 額	
	特 定 財 源 合 計		
	一 般 財 源	17,247	
事業概要	<p>従前の様々な交付金や補助金を一括で交付するとともに、各制度の助成範囲の拡充、各種事務手続の簡素化のほか、今後新たに支援が必要なる制度を都度拡充するなど、美瑛町自治基本条例等に基づき、コミュニティ活動を促進するための支援を行うもの。</p>		
事業内容・効果等	○目的・効果		
	地域コミュニティの活性化や地域の特色をいかした魅力ある地域の形成により、町民主体の自治の推進に期待できる。		
	○内容及び費用内訳		
	負担金補助及び交付金	計	17,247千円
	1 行政区・町内会活動費（定額型）		13,762千円
	（1）地域社会活動費		4,244千円
	（2）町政協力活動費		2,822千円
	（3）自治活動拠点維持費		2,148千円
	（4）安全安心費		3,011千円
	（5）支え合い活動費		1,537千円
	2 地域活性化助成費（個別申請型）		500千円
	3 自治活動拠点整備費（個別申請型）		1,000千円
	4 安全安心施設等整備費（個別申請型）		1,435千円
	（1）防災資機材等整備費		100千円
	（2）防犯灯整備費		1,000千円
（3）ゴミステーション等整備費		335千円	
5 環境美化活動推進費（個別申請型）		550千円	
（1）環境美化活動推進費		150千円	
（2）環境維持機械導入費		300千円	
（3）町有財産維持管理費		100千円	
○実績等			
令和7年度（実績見込み）	計	16,806千円	

令和 8 年度 事業概要書		所 管 課	総務課
事業名	集落支援員管理事業	予算書	4 2 頁
事業費	8, 3 9 6 千円		
財源内訳	特 定 財 源 の 内 訳		
	名 称		金 額
	特 定 財 源 合 計		
	一 般 財 源		8, 396
事業概要	<p>人口減少及び高齢化の著しい社会情勢において、町民と行政の協働の下、時代の変化に対応した地域の維持・活性化を図るため、地域の実情に詳しく、集落支援の推進に関してノウハウを有する人材を「集落支援員」として配置し、地域づくり活動の支援を行う。</p>		
事業内容・効果等	<p>○目的・効果 過疎地域の集落の維持・活性化、地域づくりを主体的に担うコミュニティ組織の基盤強化、地域それぞれの特性をいかした魅力ある地域づくりに期待できる。</p> <p>○内容・計画</p> <p>1 任用型支援員（R 8 配置計画：1 人） 会計年度任用職員として町が任用する支援員。役場組織に常駐し、地域と行政の橋渡しの役割など、町全域の調整役を担う。</p> <p>2 委託型支援員（R 8 配置計画：2 人） 地域づくり活動を担う法人又は団体と委託契約を締結し委嘱する支援員。集落点検等で地域の維持・活性化に必要となる取組等が整理された特定地域において自治活動を支援する。</p> <p>3 集落支援員の主な活動 (1) 集落点検の実施に関する事。 (2) 地域の維持・活性化についての話し合いに関する事。 (3) 具体的方策の検討及び実施に関する事。 (4) 地域と行政又は関係機関との連絡調整に関する事。</p> <p>○費用内訳</p> <p>1 報酬 2,127 千円 任用型支援員 1 人分（専任） 2 職員手当等 544 千円 // 3 共済費 425 千円 // 4 需用費 50 千円 // 5 委託料 5,250 千円 委託型支援員 2 人(専任・兼任各 1 人)</p> <p>○その他参考事項（集落支援員の設置に対する特別交付税の措置額） 専任 5,000 千円、兼任 400 千円</p>		

令和8年度 事業概要書		所管課	総務課
事業名	東部地区コミュニティ施設整備事業	予算書	42頁
事業費	14,500千円		
財源内訳	特定財源の内訳		
	名 称		金 額
	辺地対策 東部地区コミュニティ施設整備事業債		9,200
	地域未来交付金		4,800
	特定財源合計		14,000
	一般財源	500	
事業概要	誰もが身近な地域で世代を超えた交流を図り、新たな人のつながりを生むことで、元気でいきいきとした持続的な地域づくりを進めるため、多世代が関わる機能を有した複合施設を整備する。		
事業内容・効果等	○目的・効果 地域活動を取り巻く環境の変化によって自治組織が抱える課題も複雑化している中、特定の年齢層や利用者を対象にしていた複数の施設を一つに融合することで、身近な地域の中で世代を超えた交流が図られ、新たな人のつながりが創出されることにより、元気でいきいきとした持続的な地域づくりに期待できる。		
	○全体計画		
	1 事業期間	令和5年度～令和8年度	
	2 事業概要	地域コミュニティ施設整備一式	
	3 総事業費	724,400千円（予定）	
	○実績・経過		
	1 事業概要	基本設計業務、実施設計業務、朗根内へき地保育所解体工事、施設建設工事、施設備品購入 各一式	
	2 事業費	709,900千円（R7まで見込み）	
	○内容		
	木造平屋建て N=1棟、A=776.96㎡（233.09坪）		
(1) おじいちゃんおばあちゃんの家（高齢者福祉棟）	178.57㎡		
(2) こどもとみんなの家（集会室、多目的室）	144.91㎡		
(3) ちいきの食堂（農畜産物加工室、喫茶談話室、直売所）	193.04㎡		
(4) その他共用部（トイレ、事務室ほか）	260.44㎡		
	合計	776.96㎡	
○費用内訳			
工事請負費	14,500千円（外構工事）		

令和8年度 事業概要書		所管課	総務課
事業名	東部地区コミュニティ施設管理運営事業	予算書	44頁
事業費	8,237千円		
財源内訳	特定財源の内訳		
	名 称		金 額
	丘のまちびえいまちづくり基金繰入金		6,000
	特定財源合計		6,000
	一般財源		2,237
事業概要	<p>子どもから高齢者まで多くの世代が集う町民等の多様な活動の拠点となる「美瑛町東部地区コミュニティ施設」の適正な管理を図り、将来にわたって活力ある地域づくりを進めるため、管理・運営に要する費用を計上するもの。</p>		
事業内容・効果等	<p>○目的・効果 地方自治法第244条の2第3項の規定により、当該施設の管理を指定管理者が代行することで、経営ノウハウをいかしたサービスの提供や運営コストの削減など、行政と異なる視点から効果的な運営が進められることが期待される。</p> <p>○経過等 住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる環境づくりを進めるため、東部地区の地域運営を担う組織として、「東部地区コミュニティセンター運営協議会」が設立されている。</p> <p>本事業では、当該団体を指定管理者とした公の施設の管理・運営費を計上しており、さらに当該団体が実施する自主事業（別途計上）によって、東部地区の活性化とともに、本施設の設置目的である「将来にわたって活力ある地域づくり」の達成を目指すもの。</p> <p>○内容 公の施設の管理・運営費（指定管理料：B-A） 8,237千円 1 収入（利用料金等） 計(A) 1,495千円 2 支出（施設管理運営費等） 計(B) 9,732千円 （1）需用費（消耗品費、光熱水費等） 6,827千円 （2）役務費（検査手数料、郵便料、電話料等） 739千円 （3）委託料（施設管理、保守点検等） 1,956千円 （4）使用料ほか（テレビ受信料、AEDリース料等） 210千円</p> <p>○費用内訳 委託料 8,237千円（指定管理料）</p>		

令和8年度 事業概要書		所 管 課	文化スポーツ課
事業名	芸術文化推進事業	予算書	44頁
事業費	2,000千円		
財源内訳	特 定 財 源 の 内 訳		
	名 称		金 額
	特 定 財 源 合 計		
	一 般 財 源		2,000
事業概要	副業型活性化起業人により、町内の様々な活動を通して町民と芸術文化との関わりを深く持てる様に企画立案等を行い、聞く、見る、学ぶといったことから、体験し、披露し、喜びを得るといった活動まで幅広く事業を推進していく。		
事業内容・効果等	<p>○目的・効果</p> <p>前年度において、びえい星のかけらプロジェクトや明德小学校アウトリーチ活動において、指導、運営等を行い、町民の芸術文化事業への理解が進んだ状況において、さらに町や各団体が行う事業に関与し、町民の体験活動に寄与していく。</p> <p>○内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 町内各事業への派遣 2 町内各企画での運営補助、演出 3 町内各企画への出演、演技指導等 <p>○費用内訳</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 報酬 1,000千円 2 旅費 1,000千円 		

令和 8 年度 事業概要書		所 管 課	まちづくり推進課	
事業名	デジタル・トランスフォーメーション推進事業	予算書	4 4 頁	
事業費	2, 4 4 9 千円			
財源内訳	特 定 財 源 の 内 訳			
	名 称			金 額
	地域未来交付金			1, 175
	特 定 財 源 合 計			1, 175
	一 般 財 源			1, 274
事業概要	<p>美瑛町DX推進ロードマップに基づき、デジタル技術を活用した行政サービスにおける町民の利便性の向上を図りつつ、職員の業務効率化によって人的資源を行政サービスの更なる向上に活用する。令和8年度は「書かない窓口」サービスを導入する。</p> <p>また、誰もがデジタル技術を有効に利用し、恩恵を実感できる地域づくりを推進するため、デジタル格差解消に向けた取組を実施する。</p>			
事業内容・効果等	<p>○目的・効果</p> <p>各種証明書を発行する際は、申請書を手書きで記入しなければならない、特に転入、転出、死亡などの各ライフイベントの手続きでは、複数の申請書が必要となり、来庁者の手間となっている。マイナンバーカード等の本人確認書類から基本4情報（氏名、住所、生年月日、性別）を読み取り、申請書に自動転記し書類記載を一部省略化することで、来庁者の書く手間、滞在時間等を削減するとともに、職員の業務効率化を図る。</p> <p>また、急速なデジタル化によるデジタル格差解消のため、スマホ相談会を開催し、特に高齢者等へのデジタル活用を支援する。</p> <p>○内容</p> <p>1 スマホ相談会の実施 町民を対象に、月1回程度の実施</p> <p>2 役場1階窓口への「書かない窓口」サービス導入 (1) 導入システム 本人確認業務サポートシステム (2) 導入箇所 ワンストップ窓口3箇所、住民生活課窓口1箇所</p> <p>○実績・経過</p> <p>スマホ相談会開催実績（令和8年1月末時点） 令和7年6月～令和8年1月 全8回（月1回）参加者計82名</p> <p>○費用内訳</p> <p>1 旅費 48千円（セミナー等に要する旅費 札幌6回） 2 需用費 49千円（スマホ相談会実施に係る事務用品） 3 委託料 2,352千円（書かない窓口サービス導入業務委託料）</p> <p>○その他参考事項</p> <p>地域未来交付金（デジタル実装型） 補助率2分の1</p>			

令和8年度 事業概要書		所管課	まちづくり推進課	
事業名	地域人材育成研修施設管理運営事業		予算書	44頁
事業費	9,667千円			
財源内訳	特定財源の内訳			
		名称	金額	
		地域人材育成研修施設光熱水費	17	
		地域人材育成研修施設シーツ洗濯代	200	
		地域人材育成研修施設使用料	2,300	
		公共建物貸付料	6	
		特定財源合計	2,523	
	一般財源	7,144		
事業概要	<p>旧旭小学校を改修した施設である地域人材育成研修交流センターを人材育成及び交流促進の拠点として、町民の生涯学習のみならず、町外の企業・大学等様々な人材を呼び込み本町の関係人口創出に取り組むため、当該施設の管理を行う。</p>			
事業内容・効果等	<p>○目的・効果 町民及び町外の人に研修・交流の機会を提供し、地域振興及び活性化に必要な人材育成を図り、経済・産業・文化など様々な分野において豊かなまちづくりを実現することを目的とする。 関係人口創出事業と連携し、町外の人材が本施設を活用することで利用促進を図り、また、将来的な二地域居住、移住・定住に寄与する</p> <p>○内容 地域人材育成研修交流センターの管理運営。</p> <p>○費用内訳</p> <p>1 需用費</p> <p> 消耗品費 358千円</p> <p> 燃料費 382千円 (灯油)</p> <p> 光熱水費 4,224千円 (電気・水道)</p> <p> 修繕料 100千円</p> <p>2 役務費</p> <p> 通信運搬費 40千円 (電話料)</p> <p> 手数料 864千円 (浄化槽検査、洗濯、受水槽清掃)</p> <p>3 委託料 3,357千円 (保守・管理)</p> <p>4 使用料及び貸借料 339千円 (テレビ受信、AED借上、コピー機)</p> <p>5 負担金 3千円 (防火管理者)</p>			

令和 8 年度 事業概要書		所 管 課	まちづくり推進課																																									
事業名	テレワーク推進事業		予算書	44頁																																								
事業費	2,109千円																																											
財源内訳	特 定 財 源 の 内 訳																																											
	名 称			金 額																																								
	二地域居住体験住宅利用者負担金			288																																								
	二地域居住体験住宅使用料			1,203																																								
	特 定 財 源 合 計			1,491																																								
一 般 財 源			618																																									
事業概要	<p>主に都市部の住民が本町に中長期間滞在し二地域居住体験を行う住宅（2棟）を管理・運営する。関係人口創出事業と連携し、本施設の滞in者との関係づくりを行い、担い手活動への参画等を促す。また、企業・大学連携における滞在施設としても活用する。</p>																																											
事業内容・効果等	<p>○目的・効果 都市部の方などが二地域居住を実施する際、民間アパートやホテル等に中長期間滞在することは費用面でハードルが高いため、本取組を促進するための拠点を管理・運営する。関係人口創出、二地域居住及び移住・定住の促進に寄与する。</p> <p>○内容 二地域居住体験住宅（2棟、いずれも幸町に所在）の管理・運営。</p> <p>○費用内訳</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">1 需用費</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">消耗品費</td> <td style="text-align: right;">80千円</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">燃料費</td> <td style="text-align: right;">389千円</td> <td colspan="2">（灯油）</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">光熱水費</td> <td style="text-align: right;">408千円</td> <td colspan="2">（電気・ガス・上下水道）</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">修繕料</td> <td style="text-align: right;">100千円</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">2 役務費</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">通信運搬費</td> <td style="text-align: right;">176千円</td> <td colspan="2">（回線使用料）</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">手数料</td> <td style="text-align: right;">581千円</td> <td colspan="2">（洗濯、室内清掃）</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">3 委託料</td> <td style="text-align: right;">356千円</td> <td colspan="2">（草刈、水抜き・通水、特殊清掃）</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">4 使用料及び貸借料</td> <td style="text-align: right;">19千円</td> <td colspan="2">（テレビ受信）</td> </tr> </table>				1 需用費				消耗品費	80千円			燃料費	389千円	（灯油）		光熱水費	408千円	（電気・ガス・上下水道）		修繕料	100千円			2 役務費				通信運搬費	176千円	（回線使用料）		手数料	581千円	（洗濯、室内清掃）		3 委託料	356千円	（草刈、水抜き・通水、特殊清掃）		4 使用料及び貸借料	19千円	（テレビ受信）	
1 需用費																																												
消耗品費	80千円																																											
燃料費	389千円	（灯油）																																										
光熱水費	408千円	（電気・ガス・上下水道）																																										
修繕料	100千円																																											
2 役務費																																												
通信運搬費	176千円	（回線使用料）																																										
手数料	581千円	（洗濯、室内清掃）																																										
3 委託料	356千円	（草刈、水抜き・通水、特殊清掃）																																										
4 使用料及び貸借料	19千円	（テレビ受信）																																										

令和8年度 事業概要書		所管課	総務課
事業名	友好都市連携交流事業		予算書 44頁
事業費	2,000千円		
財源内訳	特定財源の内訳		
	名称		金額
	いきいきふるさと推進事業助成金		1,000
	特定財源合計		1,000
	一般財源		1,000
事業概要	自治体間の友好都市の提携により、文化や産業など多様な分野での相互交流を推進し、新たな価値の創造に取り組むとともに、友好親善の輪を広げ、双方の地域の活性化と持続的な発展を目指す。		
事業内容・効果等	<p>○目的・効果 自治体同士がそれぞれのまちの魅力をいかしながら、相互理解と連携を深めることで、新たな交流、新しい学びや体験の機会の創出、特産品の交流による地域の魅力向上等に期待できる。</p> <p>○経過等</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 友好都市提携先（予定） 和歌山県那智勝浦町 2 交流経過 <ol style="list-style-type: none"> (1) 明治28年、現在の那智勝浦町出身者が美瑛市街地（現扇町付近）に入植される。 (2) 昭和63年に噴火した十勝岳の鎮静と本町の繁栄を願い、那智熊野大社で千年以上続く「那智の扇祭り」から正式に「火」を貰い受け、「那智美瑛火祭」を平成元年以降現在まで継続開催。 (3) 本町児童を対象とした「少年少女道外研修事業」にて、計2回（平成30年、令和6年）、那智勝浦町を訪問。 (4) 令和7年12月に美瑛町、令和8年2月に那智勝浦町において、両町の地域資源の視察とともに、連携事業の方向性を協議。 <p>○内容・計画</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 実施主体 美瑛町友好都市相互交流実行委員会（仮称） 2 実施計画案 <ol style="list-style-type: none"> (1) 友好都市タウンフォーラム（両町関係者の相互交流） (2) 文化交流事業（火祭り交流） (3) 物産交流事業（農畜産物と海産物の特産品交流） <p>○費用内訳 補助金 2,000千円（美瑛町友好都市相互交流実行委員会へ補助）</p>		

令和 8 年度 事業概要書		所 管 課	まちづくり推進課	
事業名	地域産品を活かした魅力創造・発信事業		予算書	44頁
事業費	10,900千円			
財源内訳	特 定 財 源 の 内 訳			
	名 称			金 額
	特 定 財 源 合 計			
	一 般 財 源			10,900
事業概要	<p>総務省の「地域活性化起業人」制度を活用した民間人材の任用を行う。当該人材は、町内農畜産物生産者や加工事業者のほか、小売事業者等との連携による商品開発や販路拡大、情報発信に係る支援を行うほか、まちづくり寄附を活用した地域産品の魅力発信等の活動を行う。</p>			
事業内容・効果等	<p>○目的・効果 地域活性化起業人は現在も民間企業に勤務しており、企業からの派遣もしくは副業という形で本町の業務に関わる制度である。当該人材には、企業で培われた人脈やノウハウを活かしながら、地域活性化の取組を効果的・効率的に展開されることを期待する。</p> <p>○内容 地域活性化起業人3名の任用。 (内訳) ・派遣型地域活性化起業人 1人(東京都内企業に勤務) ・副業型地域活性化起業人 2人(いずれも東京都内企業に勤務)</p> <p>○費用内訳 1 報酬費 2,000千円(1,000千円/人、副業型活性化起業人) 2 旅費 2,000千円(1,000千円/人、副業型活性化起業人) 3 委託料 1,000千円(派遣型地域活性化起業人が発案・提案した事業に係る業務委託) 4 負担金 5,900千円(派遣型地域活性化起業人、派遣元企業に対する負担金)</p> <p>○その他 地域活性化起業人制度(総務省)により上記の費用全額が特別交付税措置の対象。</p>			

令和8年度 事業概要書		所管課	まちづくり推進課
事業名	丘のまちびえいデザイン戦略事業		予算書 46頁
事業費	5,900千円		
財源内訳	特定財源の内訳		
	名称		金額
	特定財源合計		
	一般財源		5,900
事業概要	<p>総務省の「地域活性化起業人」制度を活用した民間人材の任用を行う。当該人材は、令和6年度に制作した美瑛町コミュニケーションマークの町内外への普及、マークを活用した美瑛町の魅力発信等を行うとともに美瑛町の情報発信力強化の支援を行う。</p>		
事業内容・効果等	<p>○目的・効果 地域活性化起業人は現在も民間企業に勤務しており、企業からの派遣という形で本町の業務に関わる制度である。当該人材には、美瑛町コミュニケーションマークの普及を行い、町民のシビックプライドの醸成やブランディングによる認知度の向上、マークに込められた意味を知ることによる、関係人口の拡大、ふるさと納税、移住定住の増加などにつなげるとともに、観光マナーの向上にも期待する。 また、美瑛町の情報発信力を強化することで、町民へ迅速かつ分かりやすい情報発信が期待できる。</p> <p>○内容 地域活性化起業人1名の任用。 ・派遣型地域活性化起業人 1人（東京都内企業に勤務）</p> <p>○費用内訳 負担金 5,900千円（派遣型地域活性化起業人、派遣元企業に対する負担金）</p> <p>○その他 地域活性化起業人制度（総務省）により上記の費用全額が特別交付税措置の対象。</p>		

令和 8 年度 事業概要書		所 管 課	まちづくり推進課	
事業名	二地域居住創出・拡大事業	予算書	46頁	
事業費	5,900千円			
財源内訳	特 定 財 源 の 内 訳			
	名 称	金 額		
	特 定 財 源 合 計			
	一 般 財 源			5,900
事業概要	<p>総務省の「地域活性化起業人」制度を活用した民間人材の任用を行う。当該人材は、都市部の住民と町をつなぐ調整役を担い、ふるさと住民登録制度の推進を図るとともに、町の魅力発信等の活動を行う。</p>			
事業内容・効果等	<p>○目的・効果 地域活性化起業人は現在も民間企業に勤務しており、企業からの派遣もしくは副業という形で本町の業務に関わる制度である。当該人材には、企業で培われた人脈やノウハウを活かしながら、地域活性化の取組を効果的・効率的に展開されることを期待する。</p> <p>○内容 地域活性化起業人1名の任用。 ・派遣型地域活性化起業人 1人（東京都内企業に勤務）</p> <p>○費用内訳 負担金 5,900千円 （派遣型地域活性化起業人、派遣元企業に対する負担金）</p> <p>○その他 地域活性化起業人制度（総務省）により上記の費用全額が特別交付税措置の対象。</p>			

令和8年度 事業概要書		所管課	管理課
事業名	学校サポート事業		予算書 46頁
事業費	1,008千円		
財源内訳	特定財源の内訳		
	名 称		金 額
	特定財源合計		
	一般財源		1,008
事業概要	<p>大学連携の取組として、教員志望の学生を町内の小中学校で受け入れ、学校の授業における支援や校内活動への参加など、様々な業務をサポートしていただく。</p> <p>参加学生については、おためし地域おこし協力隊として参加していただき、都市圏とは異なる教育現場の実態と美瑛町における支援教育の在り方について学んでもらう。</p>		
事業内容・効果等	<p>○目的・効果</p> <p>学生にとっては、学校現場の現状を教育実習とは違った形で経験できる機会となり、美瑛町にとっては、大学生が教員とは違った形で学校に入ることによって児童生徒のキャリア発達等につなげることができる。また、参加学生による滞在経験についての率直な発表を教職員向けに行うことで、学校現場としても所属校の現状を見つめ直す機会とする。</p> <p>○内容・計画</p> <p>令和8年度においては、大妻女子大学の学生を夏・冬の2回受入予定。(6人×2回の計12人)</p> <p>また、参加学生が活動内容について大学の学校祭においても発表するなど、美瑛町の教育環境について発信する場を設ける。</p> <p>○費用内訳</p> <p>報酬 1,008千円</p>		

令和8年度 事業概要書		所管課	文化スポーツ課	
事業名	美瑛学推進支援事業	予算書	46頁	
事業費	5,004千円			
財源内訳	特 定 財 源 の 内 訳			
	名 称	金 額		
	特 定 財 源 合 計			
	一 般 財 源			5,004
事業概要	<p>美瑛学は、本町の歴史、文化、自然や天文について広く町民に学んでいただく活動であり、地域おこし協力隊員による新たな視点を加えた活動を通じて本町への誇りと愛着を醸成する。</p>			
事業内容・効果等	<p>○目的・効果 本町の歴史、文化、自然及び天文について学ぶ美瑛学を広め、町民がわが町に誇りを持てる環境を作る。専門知識を持つ学芸員と、外からの視点や発信力を持つ地域おこし協力隊が連携することで、本町の価値を再発見し、郷土学館が町の魅力を語り合える交流の拠点となることを目指す。</p> <p>○内容 1 郷土学館における地域学講座（美瑛学）の支援 2 郷土学館における特別展／企画展の企画 3 天文台における天体観察支援及び解説</p> <p>○費用内訳 1 報酬 2,695千円 2 職員手当等 1,045千円 3 共済費 650千円 4 旅費 114千円 5 委託料 24千円（職員健康診断委託） 6 備品購入費 60千円 7 負担金補助及び交付金 416千円</p> <p>○その他 地域おこし協力隊制度（総務省）により上記の費用全額が特別交付税措置の対象。</p>			

令和8年度 事業概要書		所管課	文化スポーツ課																		
事業名	地域の芸術・文化振興推進事業		予算書 48頁																		
事業費	1,699千円																				
財源内訳	特定財源の内訳																				
	名称		金額																		
	特定財源合計																				
	一般財源		1,699																		
事業概要	<p>地域おこし協力隊員により、町内での芸術・文化活動への積極的な取組を行い、作品制作、文化事業の構想、企画、実施運営を行い、これまでにない形の芸術文化に町民が触れる事を主とした活動を行う。</p>																				
事業内容・効果等	<p>○目的・効果 美瑛町において様々な芸術文化活動がある中において、独自の視点やこれまでの経験により新たな町内での芸術文化活動の価値を見出し、積極的な活動によりその価値を事業として実施運営し、体験として町民への還元を行う。</p> <p>○内容 1 作品制作とそのための実験、研究、リサーチ 2 文化事業の構想、企画、実施運営 3 町内での起業の実現への計画、準備</p> <p>○費用内訳</p> <table border="0"> <tr><td>1 報酬</td><td>604千円</td></tr> <tr><td>2 職員手当等</td><td>512千円</td></tr> <tr><td>3 共済費</td><td>190千円</td></tr> <tr><td>4 旅費</td><td>94千円</td></tr> <tr><td>5 消耗品費</td><td>50千円</td></tr> <tr><td>6 委託料</td><td>13千円（職員健康診断委託）</td></tr> <tr><td>7 使用料</td><td>7千円</td></tr> <tr><td>8 負担金</td><td>139千円</td></tr> <tr><td>9 補助金</td><td>90千円</td></tr> </table> <p>○その他 地域おこし協力隊制度（総務省）により上記の費用全額が特別交付税措置の対象。</p>			1 報酬	604千円	2 職員手当等	512千円	3 共済費	190千円	4 旅費	94千円	5 消耗品費	50千円	6 委託料	13千円（職員健康診断委託）	7 使用料	7千円	8 負担金	139千円	9 補助金	90千円
1 報酬	604千円																				
2 職員手当等	512千円																				
3 共済費	190千円																				
4 旅費	94千円																				
5 消耗品費	50千円																				
6 委託料	13千円（職員健康診断委託）																				
7 使用料	7千円																				
8 負担金	139千円																				
9 補助金	90千円																				

令和 8 年度 事業概要書		所 管 課	まちづくり推進課	
事業名	まちづくりインターンシップ事業	予算書	48頁	
事業費	3,780千円			
財源内訳	特 定 財 源 の 内 訳			
	名 称	金 額		
	特 定 財 源 合 計			
	一 般 財 源			3,780
事業概要	<p>「地域おこし協力隊インターン」制度を活用し、大学生等の地域おこし協力隊を希望する者を2週間以上受け入れ、担い手活動への従事や町の魅力を体験し関係人口創出に資する活動を行う事業であり、本町は参加したインターン生に対して国の基準に基づく報酬を支出する。</p>			
事業内容・効果等	<p>○目的・効果 都市部の大学・学生等と本町の関係が深化され、町内就職もしくは地域おこし協力隊としての着任につながることを期待でき、また町全体の担い手確保対策にも寄与するほか、関係人口の拡大につながる。</p> <p>○内容 地域おこし協力隊インターン生の任用。</p> <p>○費用内訳 報酬 3,780千円（15人×12千円/日×21日）</p> <p>○その他 地域おこし協力隊制度（総務省）により上記の費用全額が特別交付税措置の対象。</p>			

令和 8 年度 事業概要書		所 管 課	まちづくり推進課	
事業名	研修施設を活用した地域活性化事業	予算書	50頁	
事業費	11,000千円			
財源内訳	特 定 財 源 の 内 訳			
	名 称	金 額		
	特 定 財 源 合 計			
	一 般 財 源			11,000
事業概要	<p>地域人材育成研修交流センターの維持管理及び当該施設を活用した取組の運営を行う地域おこし協力隊（2名）の任用を行う。</p> <p>なお、地域おこし協力隊制度のうち委託型（民間企業・団体に委託した上で協力隊本人に委嘱する方法）により任用を行う。</p>			
事業内容・効果等	<p>○目的・効果 従前は町直営で管理していた地域人材育成研修交流センターについて、本協力隊が管理運営を担うことで、利用者に対して細やかな対応や効率的な運営を実施できることから、施設の効果的な活用につながる。あわせて、当該施設を拠点のひとつとして推進する関係人口創出事業に対しても好影響を及ぼす。</p> <p>○内容 委託型地域おこし協力隊2名の任用。</p> <p>○費用内訳 委託料 11,000千円（5,500千円/人）</p> <p>○その他 地域おこし協力隊制度（総務省）により上記の費用全額が特別交付税措置の対象（上限5,500千円/人）。</p>			

令和 8 年度 事業概要書		所 管 課	保健福祉課	
事業名	福祉ハイヤー借上事業		予算書	70 頁
事業費	6, 778 千円			
財源内訳	特 定 財 源 の 内 訳			
	名 称			金 額
	過疎対策（ソフト分）高齢者等福祉支援事業債			6,700
	特 定 財 源 合 計			6,700
	一 般 財 源			78
事業概要	本町に在住する在宅高齢者のうち、70歳以上の高齢者及び1～3級の障がい者で自家用車等の交通手段を持たない交通弱者に対し、ハイヤー利用助成券を交付する。			
事業内容・効果等	<p>○目的・効果 通院、買物など日常生活の利便性の向上と経済的負担の軽減を図り、高齢者等の引きこもりの予防、社会参加の拡充につなげていく。</p> <p>○内容 自家用車のない在宅の非課税高齢者や障がい者に対し、ハイヤー助成券を交付する。</p> <p>○費用内訳 使用料及び賃借料 6,778 千円</p> <p>1 高齢者（町民税非課税世帯の70歳以上の高齢者）</p> <p>（1）市街地居住者 472人×15,000円＝7,080,000円（1人あたり500円×30枚）</p> <p>（2）郊外居住者 79人×20,000円＝1,580,000円（1人あたり500円×40枚） （（1）＋（2））×75%（予算積算率）≒6,500,000円</p> <p>2 障害者手帳保有者（1・2級の下肢・体幹・視覚の障がい者）</p> <p>（1）市街地居住者 11人×20,000円＝220,000円（1人あたり500円×40枚）</p> <p>（2）郊外居住者 3人×25,000円＝75,000円（1人あたり500円×50枚）</p> <p>（3）その他3級以上障がい者（市街地居住者） 5人×15,000円＝75,000円（1人あたり500円×30枚） （1）～（3）の計×75%（予算積算率）≒278,000円</p>			

令和8年度 事業概要書		所管課	保健福祉課
事業名	福祉人材確保事業	予算書	72頁
事業費	2,100千円		
財源内訳	特定財源の内訳		
	名 称	金 額	
	丘のまちびえいまちづくり基金繰入金	2,000	
	特定財源合計		
	一般財源	100	
事業概要	<p>町内の福祉関係事業所に新たに就職する福祉従事者を対象に福祉人材確保事業交付金を交付することにより、福祉従事者不足の解消を図る。 また、担い手不足解消を目的にシニア層向けの講演会を開催する。</p>		
事業内容・効果等	<p>○目的・効果 人口減少、人口構造の変化に伴いあらゆる分野で人材不足となっているが、特に、福祉（子育て、障がい、高齢）分野の人材不足は、利用者に対するきめ細かな支援が困難となり、サービスの質や量の低下も懸念される。利用者本位の質の高いサービスを提供するため新たに福祉分野に就労される方へ、福祉人材確保事業交付金を交付することで、福祉分野の就労希望者の増加と福祉関係事業所の人材不足の解消につなげる。 また、シニア層に関心の高いテーマを題材に、豊かなシニアライフをイメージできる講演会を開催する。シニアの働き方を紹介し、活動的で生きがいを持ち楽しく過ごしていただくことで、収入の増加や介護予防、生きがいづくりにつなげ、結果として子育て支援や高齢者支援、ボランティアなどの地域貢献や、枯渇する福祉分野での担い手確保につなげる。</p> <p>○内容・計画 新たに福祉関係事業所に採用された方であって、雇用保険の適用を受ける方に対し、月額10,000円（上限10か月分）を交付する。 シニア層向けの講演会を開催する。</p> <p>○費用内訳 1 報償費 100千円（講演会講師謝礼） 2 負担金補助及び交付金 2,000千円 （月額10,000円×10か月×20人＝2,000,000円）</p> <p>○実績 美瑛町福祉人材確保事業交付金 令和5年度29人 令和6年度20人</p>		

令和 8 年度 事業概要書		所 管 課	保健福祉課	
事業名	介護予防サービス計画事業		予算書	72頁
事業費	249千円			
財源内訳	特 定 財 源 の 内 訳			
		名 称	金 額	
		介護予防サービス計画費	249	
		特 定 財 源 合 計	249	
	一 般 財 源	0		
事業概要	<p>介護認定で要支援1又は要支援2と認定され方や、介護認定を受けていない方がサービスを利用する上で必要となるケアマネジメント（介護予防サービス計画作成）業務を居宅介護支援事業所に委託する事業。（請求事務は地域包括支援センターで実施）</p>			
事業内容・効果等	<p>○内容・効果 介護予防給付サービスのマネジメント（介護予防サービス計画）及び地域支援事業の介護予防・日常生活支援総合事業介護予防ケアマネジメントを、居宅介護支援事業所に委託するもの。 地域包括支援センターは、介護予防支援事業所としての機能を有し、介護予防のケアマネジメント機能を持つが、委託することにより介護予防サービス及び総合事業利用者への円滑なサービス調整と速やかな計画化を図ることができる。</p> <p>※ 令和7年度から、町内の指定居宅介護支援事業者が保険者からの指定を受けて、介護予防支援事業を直接実施できるようになったことから、委託件数が大幅に減少している。 （R6年度1,314件 R7年度[1月時点]35件）</p> <p>○費用内訳 委託料 249千円 1 ケアマネジメントA（通常型サービス計画作成委託料） 委託単価4,420円×40件＝176,800円 2 ケアマネジメントC（簡易型サービス計画作成委託料） 委託単価2,000円×36件＝72,000円 <p style="text-align: right;">計 248,800円</p> </p> <p>○関係法令 介護保険法第115条の22（指定介護予防事業者の指定） 介護保険法第115条の45（地域支援事業）</p>			

令和8年度 事業概要書		所管課	保健福祉課	
事業名	外国人介護福祉人材育成支援事業		予算書	74頁
事業費	14,820千円			
財源内訳	特定財源の内訳			
	名 称			金 額
	福祉基金繰入金			10,000
	外国人介護福祉人材育成支援事業負担金			2,960
	特定財源合計			12,960
	一般財源			1,860
事業概要	外国人介護福祉人材育成支援協議会の奨学金を負担することで、介護福祉士の国家資格取得を目指す外国人留学生の学習活動や生活を支援し、喫緊の課題である介護福祉人材の確保、介護福祉分野に貢献できる人材を育成する。			
事業内容・効果等	<p>○内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 就業予定事業所 1事業所 2 留学生数人数 4人（1年生2人、2年生2人） 3 留学期間 2年間 4 奨学金の内容（介護福祉学科留学生1人当たり） <ul style="list-style-type: none"> ・校納金 1,160千円 ・教材費 152千円 ・寮費 828千円 ・生活支援費 1,200千円 ・資格取得費等 360千円 計3,700千円 5 学生は2年間就学した後3年目に卒業し、町内の介護福祉施設等へ就職する。万が一就職に至らない場合は、外国人介護福祉人材育成支援協議会において他の留学生を調整する。 <p>○費用内訳</p> 負担金補助及び交付金 14,820千円 （1）外国人介護福祉人材育成支援協議会 正会員負担金 20千円 （2）外国人留学生奨学金負担金 3,700千円×4人=14,800千円 <p>○関係法令</p> 外国人介護福祉人材育成支援協議会規約			

令和 8 年度 事業概要書		所 管 課	保健福祉課
事業名	高齢者補聴器購入費助成事業	予算書	74頁
事業費	600千円		
財源内訳	特 定 財 源 の 内 訳		
	名 称	金 額	
	特 定 財 源 合 計	0	
	一 般 財 源	600	
事業概要	<p>身体障害者手帳の聴覚障害程度の基準に満たない軽度難聴の高齢者に対し、補聴器購入費用の一部を助成する事業。</p>		
事業内容・効果等	<p>○目的・効果 補聴器を使用することによって、周囲から音の情報が入らないことに起因する危険の回避や他者とのコミュニケーションも円滑になり、不安や孤独感といった精神的ストレスの軽減につながり、閉じこもり等の行動抑制や認知機能の低下を防ぎ、自身の介護予防につながる。</p> <p>○対 象 1 経済要件 70歳以上で町民税非課税世帯に属する方 2 身体要件 聴力レベル30db 以上で聴覚機能障害の身体障害者手帳の交付を受けていない方</p> <p>○費用内訳 扶助費 600千円 公費負担（片耳）2分の1 ※補助上限額 25千円</p> <p>○実績 R4年度 片耳25,000円×4人＋両耳50,000円×3人＝250,000円 R5年度 片耳25,000円×8人＋両耳50,000円×11人＝750,000円 R6年度 片耳25,000円×3人＋両耳50,000円×5人＝325,000円</p>		

令和8年度 事業概要書		所 管 課	保健福祉課
事業名	障がい者福祉施設改修事業	予算書	76頁
事業費	4,440千円		
財源内訳	特 定 財 源 の 内 訳		
	名 称	金 額	
	公共施設等整備基金繰入金	4,000	
	特 定 財 源 合 計	4,000	
	一 般 財 源	440	
事業概要	<p>町が所管する障がい者福祉サービス事業所（栄町センター）において、経年劣化により屋根が著しく損傷していることから、施設の改修工事を行う。</p>		
事業内容・効果等	<p>○目的・効果 改修工事により施設機能の長寿命化が図られ、継続した障がい福祉サービスの提供が可能となり、通所によるサービスを利用している障がい者の社会参加の基盤が確保される。</p> <p>○内容・計画 腐食の著しい障がい者福祉サービス事業所「栄町センター」の屋根について、重ね葺きによる改修工事を行う。</p> <p>○費用内訳 工事請負費 4,440千円</p>		

令和 8 年度 事業概要書		所 管 課	保健福祉課	
事業名	どんぐり保育園施設改修事業		予算書	82頁
事業費	19,283千円			
財源内訳	特 定 財 源 の 内 訳			
	名 称			金 額
	緊急防災減災 どんぐり保育園施設改修事業債			18,000
	特 定 財 源 合 計			18,000
	一 般 財 源			1,283
事業概要	<p>どんぐり保育園は、外壁等の塗装部の剥がれや亀裂等が進んでいることから、安心安全な保育を継続するため、危険箇所の改善や保育の効率化等に必要な改修や整備を行うもの。</p>			
事業内容・効果等	<p>○目的・効果 安心安全な環境で、児童の健全な心身発育を図る。</p> <p>○内容 外壁や軒天等の塗装の剥がれや亀裂が多く見られるため改修する。</p> <p>○費用内訳 工事請負費 19,283 千円</p> <p>○工事概要</p> <p>1 内 容 どんぐり保育園等の外壁塗り替え等 (塗膜除去、左官塗、外壁塗装 (シリコン系塗膜))</p> <p>2 施工面積 350 m²</p>			

令和 8 年度 事業概要書		所 管 課	保健福祉課	
事業名	乳児等通園支援事業		予算書	84頁
事業費	592千円			
財源内訳	特 定 財 源 の 内 訳			
	名 称			金 額
	乳児等通園支援給付費			472
	乳児等通園支援利用料			108
	特 定 財 源 合 計			580
	一 般 財 源			12
事業概要	<p>全ての子どもが健やかに育つことを保障するため、保護者の就労の有無にかかわらず、通園の機会を提供することを目的として、新たに創設された新たな通園制度。</p>			
事業内容・効果等	<p>○目的 小集団活動を通じて子どもの健やかな成長を促し、保護者への子育て支援の充実を図る。</p> <p>○内容・計画</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 実施場所 子ども支援センター 2 対象児 生後6か月～満3歳未満の未就園児 3 利用定員 3名 4 利用時間 月～金 午前9時～12時 午後1時～3時 5 利用料金 1時間当たり300円 <p>○効果 家庭とは異なる経験を通じて、子どもの心身の成長や社会性の発達が促進され、地域社会資源につながる契機となり、孤立感や不安解消に繋がる。</p> <p>○費用の内訳</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 旅費 23千円 2 委託料 560千円 3 負担金補助及び交付金 9千円 <p>○根拠法令 児童福祉法及び子ども・子育て支援法</p>			

令和 8 年度 事業概要書		所 管 課	保健福祉課
事業名	老人保健施設改修事業	予算書	86頁
事業費	17,116千円		
財源内訳	特 定 財 源 の 内 訳		
	名 称	金 額	
	公共施設等整備基金繰入金	17,000	
	特 定 財 源 合 計	17,000	
	一 般 財 源	116	
事業概要	<p>老人保健施設ほの香は、平成10年度に開設してから27年が経過し、施設の老朽化が進み計画的なメンテナンスや施設改修が必要となっている。利用者用エレベーターについては、これまでも数度不具合が生じていることから、令和8年度においてリニューアル工事を実施し、老朽化に伴う部品供給停止への対応や長期間の停止トラブルを予防する。</p>		
事業内容・効果等	<p>○目的・効果 改修工事によりエレベーターの長寿命化が図られ、施設の利用者に安全で快適な介護サービスの提供が可能となる。</p> <p>○実績・経過 現状のエレベーターについては、これまでも何度か停止しそのたびに個別修繕を実施してきたが、開所時に設置された機器であることから、一部の部品供給が停止し個別修理が不可能になりつつある。</p> <p>○内容・計画 既存エレベーターの再利用可能な部分は残しつつ、電子機器や機械装置など、稼働に必要な機器を交換するリニューアル工事を行う。</p> <p>○費用内訳 工事請負費 17,116千円</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 機械室機器：油圧制御弁交換、制御盤交換、作動油交換 2 昇降路内機器：ワイヤーロープ等交換、スイッチ交換 3 かご関係：LED照明更新、ドアモーター交換、操作盤及び位置表示器交換、着床位置検出スイッチ交換 4 乗り場関係：乗り場インジケータ・ボタン交換、ドアスイッチ交換 <p>○エレベーター概要 制御方式：油圧（間接式） 積載量：1,000kg（定員15名）</p>		

令和8年度 事業概要書		所管課	保健福祉課	
事業名	健幸ポイント事業		予算書	88頁
事業費	11,474千円			
財源内訳	特定財源の内訳			
		名 称	金 額	
		活動量計利用料	50	
		過疎対策（ソフト分）保健予防活動推進事業債	11,000	
		特定財源合計	11,050	
	一般財源	424		
事業概要	<p>健康を「見える化」し、個々の健康意識を高め、町民の主体的な健康づくりを助長し、誰もが自然と健幸になれる環境を整備する。健康に関連する各種事業やイベント等の参加を促し、体組成や歩数等のデータ変化に応じたBeコインに交換可能なポイントを付与することで、インセンティブによる健康意識の高揚を図り、町民全体の健康寿命の延伸・健康増進につなげていく。</p>			
事業内容・効果等	<p>○目的・効果 I o Tの活用やI C T化により健康データを「見える化」し、個々の健康意識を高めることで疾病の発症や重症化予防につながる。ヘルスリテラシー向上や主体的な健康づくりの機運醸成につながる。</p> <p>○実績・経過 H28年度～ 「びえいKUマイレージ事業」を開始 3年実施計画だったが参加者が多く事業継続 参加者の多くはリピーターとしての継続参加であり、健康無関心層を含む町民全体への広がり課題あり。 現行マイレージ事業はR7年度をもって終了とし、新たな事業として展開を図る。</p> <p>R7年10月～ プロポーザル公募開始 12月 受託事業者決定・契約締結</p> <p>R8年 3月 事業参加者募集 4月 測定拠点の設置、初回セミナー開催 5月 ウォーキングイベント開催</p> <p>○費用内訳 委託料（健幸ポイント事業管理・運營業務） 11,474千円 （委託内容）・健幸ポイント事業で使用するアプリ・機器の提供 ・電子システム等の構築および運用保守 ・広報等事業周知支援</p>			

令和8年度 事業概要書		所管課	保健福祉課
事業名	健康管理システム改修事業		予算書 90頁
事業費	17,613千円		
財源内訳	特定財源の内訳		
	名称		金額
	デジタル基盤改革支援補助金		16,459
	特定財源合計		16,459
	一般財源		1,154
事業概要	<p>地方公共団体情報システムの標準化に関する法律に基づき、成人保健・母子保健・予防接種等の対象業務について、国が策定する標準仕様に準拠したシステムに移行し、ガバメントクラウド上で運用を開始する必要があるため、現行システムから標準化システムへの移行を行う。</p>		
事業内容・効果等	<p>○目的・効果 システムが統一・標準化されることで業務の効率化が図られ、町民の予防接種に関する手続きが簡素化されるなど、住民サービスの向上につながる。</p> <p>○内容・計画 デジタル庁と厚生労働省が定める「健康管理システム標準仕様書」に準拠する内容（「第3.1版」を導入）</p> <p>○実績・経過 H17年度 健康管理システム導入 H24年度 現システム運用開始（2期目 H29～） H30・31年 特定健診制度改正、予防接種法改正 母子保健情報利活用に係る情報システム改修 R2年度 後期高齢者健診質問票変更、予防接種法改正に伴う改修 R3年度 インフルエンザ、新型コロナワクチン等に伴う改修 R6年度 システム改修までのつなぎとしてサーバー移設・運用</p> <p>○費用内訳 委託料（標準化システム導入業務） 16,459千円 使用料及び賃借料 1,154千円 ・使用料（標準化システム使用料） (842千円) ・賃借料（端末賃借料） (312千円)</p> <p>○関連法令 令和3年9月 地方公共団体情報システムの標準化に関する法律</p>		

令和8年度 事業概要書		所管課	農林課	
事業名	未来につなぐ農業支援事業		予算書	102頁
事業費	5,000千円			
財源内訳	特定財源の内訳			
		名 称	金 額	
		丘のまちびえいまちづくり基金繰入金	5,000	
		特定財源合計	5,000	
		一般財源	0	
事業概要	町内で農業を営む、主に中小規模の経営体を対象に、5～10年先を見据えた、美瑛町の未来が描ける取組に対し助成をする。			
事業内容・効果等	○目的・効果 経営発展・所得向上に向けた国事業の採択基準が年々上昇する中、中小規模の経営体の経営発展・所得向上に向けた意欲的な取組を支援することで、担い手となる経営体を育成するとともに、個々の経営能力の向上に繋げる。			
	○内容 昨今の高温傾向により、施設園芸野菜の収量が減少していることから、生産者が実施する安定生産対策に対して支援を行う。			
		取組	補助率	補助限度額
		遮熱効果のある内部設備・機器等の導入	1/2	500千円
		パイプハウスへの遮熱遮光効果のある被覆資材の導入	1/2	500千円
	○過去実績（令和3～7年度） 令和3年度 農林業経営発展奨励事業（7件） 農畜産物加工整備投資奨励事業（0件） 令和4年度 農林業経営発展奨励事業（8件） 農畜産物加工整備投資奨励事業（0件） 令和5年度 自動操舵システム導入支援事業（9件） 環境モニタリング機器導入支援事業（1件） 令和6年度 自動操舵システム導入支援事業（12件） 環境モニタリング機器導入支援事業（2件） 令和7年度 自動操舵システム導入支援事業（7件） 環境モニタリング機器導入支援事業（2件）			

令和8年度 事業概要書		所管課	農林課														
事業名	鳥獣等被害防止対策事業		予算書 104頁														
事業費	28,426千円																
財源内訳	特定財源の内訳																
	名 称		金 額														
	丘のまちびえいまちづくり基金繰入金		22,000														
	地域づくり総合交付金		980														
	特定財源合計		22,980														
	一般財源		5,446														
事業概要	<p>エゾシカ捕獲に係る経費や、ヒグマが出没した際のパトロールや問題個体の駆除に係る経費など、野生鳥獣による農作物被害の低減に必要な経費の一部を助成する。</p>																
事業内容・効果等	<p>○目的 野生鳥獣（エゾシカ・ヒグマ・アライグマ等）による農業被害の低減を目的とする。</p> <p>○内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 エゾシカ駆除について、継続的な捕獲活動に必要な費用助成や有害駆除を目的とした銃所持及び狩猟免許費用の助成を行う。 2 ヒグマの出没等に伴う、パトロール及び問題個体の排除に要する出動費、捕獲処分費等の費用助成を行う。 3 ヒグマ対策に当たり、正しい知識と技術を習得するための担い手育成研修費用の助成を行う。 4 アライグマ等被害対策として駆除業務委託を行う。 5 電気牧柵等の設置に対する支援を行う。 <p>○費用内訳</p> <table border="0"> <tr> <td>1 需用費（消耗品費）</td> <td>306千円</td> </tr> <tr> <td>2 役務費（エゾシカ残滓処理料）</td> <td>1,120千円</td> </tr> <tr> <td>3 委託料（アライグマ等駆除委託）</td> <td>5,500千円</td> </tr> <tr> <td>4 使用料（ひぐまっぷ）</td> <td>25千円</td> </tr> <tr> <td>5 補助金</td> <td></td> </tr> <tr> <td> ・鳥獣被害防止対策事業補助金</td> <td>8,875千円</td> </tr> <tr> <td> ・エゾ鹿緊急対策事業補助金</td> <td>12,600千円</td> </tr> </table>			1 需用費（消耗品費）	306千円	2 役務費（エゾシカ残滓処理料）	1,120千円	3 委託料（アライグマ等駆除委託）	5,500千円	4 使用料（ひぐまっぷ）	25千円	5 補助金		・鳥獣被害防止対策事業補助金	8,875千円	・エゾ鹿緊急対策事業補助金	12,600千円
1 需用費（消耗品費）	306千円																
2 役務費（エゾシカ残滓処理料）	1,120千円																
3 委託料（アライグマ等駆除委託）	5,500千円																
4 使用料（ひぐまっぷ）	25千円																
5 補助金																	
・鳥獣被害防止対策事業補助金	8,875千円																
・エゾ鹿緊急対策事業補助金	12,600千円																

令和8年度 事業概要書		所管課	商工観光交流課	
事業名	起業支援事業		予算書	116頁
事業費	20,000千円			
財源内訳	特定財源の内訳			
		名 称	金 額	
		過疎対策（ソフト分）商工業振興事業債	20,000	
		特定財源合計	20,000	
		一般財源	0	
事業概要	町内商工業の振興と活性化を図るため、起業において必要となる経費の一部を補助する。			
事業内容・効果等	○目的・効果 町内で起業を希望する者に対し、起業に必要な経費の一部を補助することで、新規起業者の更なる増加を目指す。			
	○実績 令和5年度 補助額 19,953千円（9件） 令和6年度 補助額 21,108千円（11件） 令和7年度 補助額 19,772千円（13件）※見込み			
	○内容 1 補助率、補助限度額			
		補助率	補助限度額	備考
	(1) 店舗等購入、施設・設備等改修工事、備品購入等に係る補助	2分の1	(1)と(2)の補助額を合計し200万円を上限（市街地商店街（本通り、丸山通り）で起業する場合は、100万円上乘せ）	月額5万円を上限
(2) 家賃等賃借料に係る補助				
(3) 創業支援特別融資の信用保証料に係る補助	—	全額を補助	(1)の事業を実施するために融資を受けるものに限る	

令和 8 年度 事業概要書		所 管 課	商工観光交流課							
事業名	白金温泉利用促進事業		予算書	120頁						
事業費	2,000千円									
財源内訳	特 定 財 源 の 内 訳									
	名 称			金 額						
	特 定 財 源 合 計									
	一 般 財 源			2,000						
事業概要	町民65歳以上の白金温泉の日帰り入浴利用に対する補助の実施。									
事業内容・効果等	<p>○目的・効果 国民保養センター休館後も、町内高齢者に白金温泉を気軽にご利用いただけるよう補助事業を実施する。 各温泉施設にて対象者への割引を実施し、割引分を補助するもの。</p> <p>○内容 補助内容：白金温泉施設における町民65歳以上の日帰り入浴利用料金割引に対する補助。(対象年齢は段階的に引き上げを検討)</p> <p>補 助 額：</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">対 象 施 設</th> <th style="text-align: center;">補 助 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>町民入浴料 1,000 円の施設 (4 施設)</td> <td style="text-align: center;">500 円</td> </tr> <tr> <td>町民入浴料 500 円の施設 (1 施設)</td> <td style="text-align: center;">250 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>○費用内訳 補助金 2,000 千円</p>				対 象 施 設	補 助 額	町民入浴料 1,000 円の施設 (4 施設)	500 円	町民入浴料 500 円の施設 (1 施設)	250 円
対 象 施 設	補 助 額									
町民入浴料 1,000 円の施設 (4 施設)	500 円									
町民入浴料 500 円の施設 (1 施設)	250 円									

令和8年度 事業概要書		所管課	商工観光交流課
事業名	オーバーツーリズム対策事業	予算書	120頁
事業費	3,470千円		
財源内訳	特 定 財 源 の 内 訳		
	名 称	金 額	
	地域未来交付金	1,300	
	特 定 財 源 合 計	1,300	
	一 般 財 源	2,170	
事業概要	美瑛町オーバーツーリズム対策協議会開催に係るオブザーバーの招聘と、観光客への観光マナー啓発によるオーバーツーリズム対策を行う。		
事業内容・効果等	<p>○目的・効果 美瑛町オーバーツーリズム対策協議会においてオブザーバーの助言を得て対策計画を策定する。 また、オーバーツーリズム対策として、観光客に対する観光マナー啓発を実施する。</p> <p>○内容 美瑛町オーバーツーリズム対策協議会オブザーバーの招聘 観光マナー啓発業務</p> <p>○費用内訳 報酬 60千円 (20,000円×3回) 旅費 70千円 (美瑛町1泊23,220円×3回) 委託料 3,340千円</p>		

令和8年度 事業概要書		所管課	商工観光交流課
事業名	観光マスタープラン策定事業	予算書	120頁
事業費	15,950千円		
財源内訳	特定財源の内訳		
	名 称	金 額	
	オーバーツーリズム対策事業補助金	11,801	
	特定財源合計	11,801	
	一般財源	4,149	
事業概要	観光動態等各種調査の実施及び観光マスタープランの策定。		
事業内容・効果等	<p>○目的・効果 現観光マスタープランにおける計画期間が2027年3月までとなっていることから次期観光マスタープランを策定する。 観光マスタープラン策定に当たり観光動態等各種調査を実施する。</p> <p>○内容 観光動態調査（春季、夏季、秋季） 観光マーケティング調査 住民意識調査 観光マスタープラン策定</p> <p>○費用内訳 委託料 15,950千円</p>		

令和8年度 事業概要書		所管課	商工観光交流課	
事業名	国際交流推進事業		予算書	122頁
事業費	3,240千円			
財源内訳	特定財源の内訳			
		名 称	金 額	
		丘のまちびえいまちづくり基金繰入金	2,000	
		いきいきふるさと推進事業助成金	1,000	
		特定財源合計	3,000	
	一般財源	240		
事業概要	<p>諸外国との交流を通じて、多文化共生や多様性の尊重、異文化への認識を深めるとともに、相互の地域における友好親善の促進及び互恵関係を構築し、継続した交流を推進する。</p>			
事業内容・効果等	<p>○目的・効果</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 人材交流及び産業面の交流を目指し協議・調整を行い、今後の地域内での働き手、担い手確保等を目指す。 2 オーバーツーリズム等の地域課題解決策及び知見・情報の共有、意見交換を行い、本町における地域課題解決の一助とする。 <p>○内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 モンゴル国セレンゲ県スフバートル市との交流事業。 2 台湾台東県池上郷との交流事業。 3 国際交流イベント（ベトナムフェスティバル in 北海道旭川）への費用負担 <p>○費用内訳</p> <p>負担金補助及び交付金 3,240千円</p>			

令和8年度 事業概要書		所管課	文化スポーツ課	
事業名	地域の芸術環境づくり助成事業		予算書	124頁
事業費	7,509千円			
財源内訳	特定財源の内訳			
		名 称	金 額	
		自治総合センター助成金	5,000	
		地域づくり総合交付金	2,509	
		特定財源合計	7,509	
	一般財源	0		
事業概要	<p>令和7年度「びえいつながるプロジェクト実行委員会」を中心に様々な事業を行ったが、今年度も継続事業として同委員会を中心に芸術分野の事業を開催し、町民の更なる事業への参加と理解を得る。</p>			
事業内容・効果等	<p>○目的・効果 前年度、「星のかけらプロジェクト」にて様々な事業を行い、芸術分野における人的交流が生まれ、これまで関わることのなかった各分野の方々の交流が生まれて、人材交流の活性化が促進された。 今年度の事業として「美瑛 みんなでつくる丘のまちひろば」と題し、春夏秋冬それぞれに事業を開催し、町民参加型での展開を模索していく。</p> <p>○内容 町民が主体となって参加・創造する「ひろば型アートプロジェクト」として展開する。 観光資源でもある“木”を新たな視点で捉え直す「木の楽器づくり」や、アートマルシェ、読み聞かせ、映画上映、ウェルビーイングに関するワークショップなどを実施し、まちにひらかれた文化の芽を育てる。</p> <p>○費用内訳 負担金補助及び交付金 7,509千円</p>			

令和8年度 事業概要書		所管課	建設水道課	
事業名	街路樹等景観整備事業		予算書	136頁
事業費	10,000千円			
財源内訳	特定財源の内訳			
	名 称			金 額
	丘のまちびえいまちづくり基金繰入金			10,000
	特定財源合計			10,000
	一般財源			0
事業概要	美瑛町街路樹等景観整備計画に基づき、地域住民と協力し合い、街路樹の植栽、剪定、街路灯に覆いかぶさり防犯上好ましくない樹木の伐採等の維持管理を行う。			
事業内容・効果等	<p>○目的・効果 街路樹のみどりを維持・再生することにより、町民及び本町を訪れる多くの人々に潤いや安らぎを与える市街地景観を創出する</p> <p>○内容・費用 1 委託費 8,674千円 ・整姿剪定・・・128本 ・伐採・・・20本 ・抜根処理・・・12か所 2 工事請負費 1,326千円 ・植樹柵撤去・・・4箇所</p> <p>○実施・経過 令和7年度 10,882千円 (剪定 166本 抜根 20か所 植栽 0本 伐採 3本) 令和6年度 8,670千円 (剪定 95本 伐根 10か所 植栽 0本 伐採 0本) 令和5年度 6,636千円 (剪定 91本 抜根 7か所 植栽 0本 伐採 12本) 令和4年度 5,545千円 (剪定 102本 伐根 7か所 植栽 15本 伐採 21本) 令和3年度 3,267千円 (剪定 100本 伐根 11か所 植栽 14本 伐採 0本)</p>			

令和 8 年度 事業概要書		所 管 課	建設水道課
事業名	第 2 号幹線道路改良舗装事業	予算書	1 3 8 頁
事業費	1 8 0, 0 0 0 千円		
財源内訳	特 定 財 源 の 内 訳		
	名 称		金 額
	社会資本整備総合交付金		114,840
	過疎対策 第 2 号幹線道路整備事業債		65,000
	特 定 財 源 合 計		179,840
	一 般 財 源	160	
事業概要	美瑛町地域強靱化計画の重点項目「交通ネットワークの整備」に位置付けられた路線であり、災害時の物流の幹線であり、避難経路として国道 2 3 7 号の代替路としての役割を担っているが現道が狭隘のため、安全な交通の確保が困難となっているため道路整備を実施する。		
事業内容	<p>○目的・効果 快適な通行が確保され、地域交通のネットワークの強化につながり、安全な通行が可能となる。</p> <p>○内容 改良舗装 L=500m 補償物件調査 用地杭設置 用地買収</p> <p>○事業計画 1 事業期間 令和 7 年度～令和 9 年度 2 事業費 650 百万円（概算） 3 事業概要 全体延長 L=2,100m 幅員 W=9.0m (5.5m+1.75m×2)</p>		
・ 効果	○過去実績（令和 7 年度まで） 実施設計・用地測量 L=2,100m		
等	○費用の内訳 1 工事請負費 156,000 千円 2 委託料 17,000 千円 3 用地購入費 4,000 千円 4 補償金 3,000 千円		

令和 8 年度 事業概要書		所 管 課	建設水道課	
事業名	美沢 1 2 線道路改良舗装事業		予算書	1 3 8 頁
事業費	8 0 , 0 0 0 千円			
財源内訳	特 定 財 源 の 内 訳			
	名 称			金 額
	社会資本整備総合交付金			51,040
	辺地対策 美沢 1 2 線道路整備業債			27,500
	特 定 財 源 合 計			78,540
	一 般 財 源			1,460
事業概要	道道十勝岳温泉美瑛線に接続し、美沢共和地区と市街地を結ぶ路線であり、十勝岳火山噴火に伴う避難路及び生活路線を整備する。			
事業内容 ・ 効果等	<p>○目的・効果 十勝岳噴火災害に伴い、沿線住民や観光客などの迅速な避難誘導が図られる。</p> <p>○内容 改良舗装 L=280m 用地買収</p> <p>○事業計画 1 事業期間 令和 7 年度～令和 9 年度 2 事業費 180 百万円（概算） 3 事業概要 全体延長 L=583m 幅員 W=6.0m (4.0m+1.00m×2)</p> <p>○過去実績（令和 7 年度まで） 実施設計・用地測量 L=583m</p> <p>○費用の内訳 1 工事請負費 79,000 千円 2 用地購入費 1,000 千円</p>			

令和 8 年度 事業概要書		所 管 課	建設水道課
事業名	橋梁維持修繕事業	予算書	138頁
事業費	182,280千円		
財源内訳	特 定 財 源 の 内 訳		
	名 称		金 額
	道路メンテナンス補助金		99,016
	過疎対策 橋梁維持修繕事業債		69,200
	特 定 財 源 合 計		168,216
	一 般 財 源		14,064
事業概要	<p>今後、増大する老朽化橋梁を計画的・効率的に保全するため、法定点検を実施し、橋梁長寿命化計画を策定し修繕を行う。また、日常的な管理も行い段差解消などの維持修繕を行う。</p>		
事業内容・効果等	<p>○目的・効果 橋梁の長寿命化により、経済的かつ計画的に修繕していくことで、交通の安全の確保を行う。</p> <p>○内容 定期点検 N=30 橋、補修設計 N=3 橋、補修工事 N=2 橋</p> <p>○事業計画</p> <p>1 事業期間 令和7年度～令和11年度</p> <p>2 事業費 583百万円（概算）</p> <p>3 事業概要 維持修繕（段差摺付等）毎年5橋程度 定期点検 全152橋（各橋5年に1度） 補修 15橋（健全度Ⅲ以上）</p> <p>○過去の実績（令和7年度まで）</p> <p>1 事業費 182,280千円</p> <p>2 概要 定期点検 31橋 補修 5橋</p> <p>○費用の内訳</p> <p>1 工事請負費 135,000千円</p> <p>2 委託料 46,000千円</p> <p>3 需用費 1,280千円</p>		

令和 8 年度 事業概要書		所 管 課	建設水道課	
事業名	雪寒建設機械整備事業		予算書	138頁
事業費	56,262千円			
財源内訳	特 定 財 源 の 内 訳			
	名 称			金 額
	過疎対策 雪寒建設機械整備事業債			18,600
	社会資本整備総合交付金 建設機械分（国庫補助金）			35,502
	車両売払収入			1,000
	特 定 財 源 合 計			55,102
	一 般 財 源			1,160
事業概要	導入から16年経過（13,264時間使用）した除雪グレーダー（4.0m）の更新を行う。			
事業内容・効果等	<p>○目的・効果 経年劣化による馬力不足及び故障多発生に伴う作業不能状態を解消し、除排雪作業等をより迅速に実施する事で、町民の生活路線を確保する。</p> <p>○内容・費用 備品購入費 56,262千円 ・除雪グレーダー（4.0m）1台</p> <p>○その他参考事項 補助事業の補助率 3分の2 既存機械取得日 平成21年10月23日</p>			

令和8年度 事業概要書		所管課	建設水道課
事業名	環状通り線道路改良舗装事業	予算書	144頁
事業費	22,000千円		
財源内訳	特 定 財 源 の 内 訳		
	名 称		金 額
	緊急自然災害 環状通り線道路整備事業債		20,900
	特 定 財 源 合 計		20,900
事業概要	市街地の幹線である環状通り線のうち、舗装のひび割れやわだち掘れなどが目立つ区間（旭町・東町）について、これらを解消するため整備を実施する。		
事業内容・効果等	<p>○目的・効果 安全安心な通行を確保し、周辺生活環境の改善を図る。</p> <p>○内容 調査測量・実施設計 L=1,100m</p> <p>○事業計画</p> <p>1 事業期間 令和8年度～令和11年度</p> <p>2 事業費 150百万円（概算）</p> <p>3 事業概要 全体延長L=1,100m 幅員W=18.0m（11.0m+3.5m×2）</p> <p>○費用の内訳 委託料 22,000千円</p>		

令和 8 年度 事業概要書		所 管 課	建設水道課	
事業名	旭町 4 丁目 7 番線道路改良舗装事業		予算書	1 4 4 頁
事業費	3 8, 5 0 0 千円			
財源内訳	特 定 財 源 の 内 訳			
	名 称			金 額
	緊急自然災害 旭町 4 丁目 7 番線道路整備事業債			36,500
	特 定 財 源 合 計			36,500
	一 般 財 源			2,000
事業概要	舗装の亀裂や縁石の損傷も著しく、これらを解消するため整備を行う。			
事業内容・効果等	<p>○目的・効果 安全安心な通行を確保し、周辺生活環境の改善を図る。</p> <p>○内容 改良舗装 L = 141m</p> <p>○事業計画</p> <p>1 事業期間 令和 8 年度</p> <p>2 事業費 38.5 百万円</p> <p>3 事業概要 全体延長 L = 141m 幅員 W = 8.0m (5.5m + 1.25m × 2)</p> <p>○費用の内訳 工事請負費 38,500 千円</p>			

令和 8 年度 事業概要書		所 管 課	建設水道課	
事業名	旭町 4 丁目 8 番線道路改良舗装事業		予算書	1 4 4 頁
事業費	5 2 , 8 0 0 千円			
財源内訳	特 定 財 源 の 内 訳			
	名 称			金 額
	緊急自然災害 旭町 4 丁目 8 番線道路整備事業債			50,100
	特 定 財 源 合 計			50,100
	一 般 財 源			2,700
事業概要	舗装の亀裂や縁石の損傷も著しく、これらを解消するため整備を行う。			
事業内容・効果等	<p>○目的・効果 安全安心な通行を確保し、周辺生活環境の改善を図る。</p> <p>○内容 改良舗装 L = 205m</p> <p>○事業計画</p> <p>1 事業期間 令和 8 年度</p> <p>2 事業費 52.8 百万円</p> <p>3 事業概要 全体延長 L = 205m 幅員 W = 8.0m (5.5m + 1.25m × 2)</p> <p>○費用の内訳 工事請負費 52,800 千円</p>			

令和8年度 事業概要書		所管課	建設水道課
事業名	西町3丁目3番線道路改良舗装事業	予算書	144頁
事業費	13,200千円		
財源内訳	特 定 財 源 の 内 訳		
	名 称		金 額
	緊急自然災害	西町3丁目3番線道路整備事業債	12,500
	特 定 財 源 合 計		12,500
	一 般 財 源		700
事業概要	舗装の亀裂や縁石の損傷も著しく、これらを解消するため整備を行う。		
事業内容・効果等	<p>○目的・効果 安全安心な通行を確保し、周辺生活環境の改善を図る。</p> <p>○内容 改良舗装 L = 75m</p> <p>○事業計画</p> <p>1 事業期間 令和8年度</p> <p>2 事業費 13.2百万円</p> <p>3 事業概要 全体延長 L = 75m 幅員 W = 4.0m (3.0m + 0.5m × 2)</p> <p>○費用の内訳 工事請負費 13,200千円</p>		

令和8年度 事業概要書		所管課	住民生活課
事業名	安心子育て住まい整備事業	予算書	146頁
事業費	4,136千円		
財源内訳	特 定 財 源 の 内 訳		
	名 称	金 額	
	公共施設等整備基金繰入金	4,000	
	特 定 財 源 合 計	4,000	
	一 般 財 源	136	
事業概要	<p>旧教員住宅を町営一般住宅として用途変更を行い、洋室化、断熱改善、内外装等の修繕を行い、子育て世帯向け住宅として公募を行う。</p>		
事業内容・効果等	<p>○目的・効果 共同住宅で問題となる騒音等を気にすることなく、子育て世帯が安心して居住できる戸建て住宅を供給する事で、若年層の定住化を図る。</p> <p>○内容 洋室化、サッシ断熱改善、内装、外装、水周り工事等</p> <p>○実績 令和6年度1棟改修、令和7年度1棟改修</p> <p>○経過 公営住宅等長寿命化計画や住生活基本計画の更新時に実施したアンケート調査等により、子育て世帯が騒音等を気にすることなく生活ができる1戸建ての賃貸住宅を望む声があることから、空きのある教員住宅を改修して、子育て世帯向け住宅として賃貸する。</p> <p>○費用内訳 洋室化、断熱改善等改修工事 4,136千円</p>		

令和8年度 事業概要書		所管課	住民生活課						
事業名	公営住宅等ストック総合改善事業	予算書	146頁						
事業費	19,000千円								
財源内訳	特 定 財 源 の 内 訳								
	名 称	金 額							
	公共施設等整備基金繰入金	10,000							
	社会資本整備総合交付金	8,550							
	特 定 財 源 合 計	18,550							
	一 般 財 源	450							
事業概要	2027年末に蛍光灯の生産が終了することに伴い、公営住宅に設置されている蛍光灯照明機器をLED照明器具へと交換する。								
事業内容・効果等	<p>○目的・効果 共用部の灯具をLED化することにより、エネルギー効率を向上させ低炭素化に寄与し、これからも安心して暮らせる住戸の供給を行う。</p> <p>○内容・計画 共用部の灯具のLED化 令和9年度以降 東町第2団地、南町団地、大町団地、大町第2団地</p> <p>○費用内訳</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">1</td> <td style="width: 70%;">中町団地共用部LED化工事</td> <td style="width: 25%; text-align: right;">15,200千円</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>旭町団地共用部LED化工事</td> <td style="text-align: right;">3,800千円</td> </tr> </table>			1	中町団地共用部LED化工事	15,200千円	2	旭町団地共用部LED化工事	3,800千円
1	中町団地共用部LED化工事	15,200千円							
2	旭町団地共用部LED化工事	3,800千円							

令和 8 年度 事業概要書		所 管 課	住民生活課
事 業 名	公営住宅エレベーター更新事業	予算書	146 頁
事 業 費	11,140 千円		
財源内訳	特 定 財 源 の 内 訳		
	名 称	金 額	
	公共施設等整備基金繰入金	11,000	
	特 定 財 源 合 計	11,000	
	一 般 財 源	140	
事業概要	<p>公営住宅に設置されているエレベーターは、既に部品供給が終了しており、故障により使用できなくなる恐れがあるため、制御系機器の更新を行う。</p>		
事業内容・効果等	<p>○目的・効果 高齢者の円滑な移動や、入居者の利便性確保のため、部品供給の終了したエレベーターの計画的な更新を進める。</p> <p>○内容・計画 既存エレベーターの制御系更新工事（1基） 令和8年度から令和12年度まで各1基更新（南町2基、中町3基）</p> <p>○費用内訳 エレベーター更新工事 11,140 千円</p>		

令和8年度 事業概要書		所管課	管理課																																				
事業名	不登校児童・生徒等支援事業		予算書 152頁																																				
事業費	1,207千円																																						
財源内訳	特定財源の内訳																																						
	名 称		金 額																																				
	特定財源合計																																						
	一般財源		1,207																																				
事業概要	<p>児童生徒が気軽に悩みを相談できる居場所「My s P a c e (マイスペース)」の開設に係る費用を計上し、不登校傾向にある児童生徒を始め、子育てに対して不安や困り感を持つ保護者等の受け入れを行う。</p>																																						
事業内容・効果等	<p>○目的・効果 学校に登校するという結果のみを目標にするのではなく、子どもたちが、将来、社会的に自立するために必要なソーシャルスキルトレーニングや自立活動等の支援を行う。</p> <p>○内容・計画 子どもたちにとって安全・安心な居場所を整備し、学校復帰に向けた足がかりとなるよう支援を行う。</p> <p>○費用内訳</p> <table border="0"> <tr> <td>1</td> <td>報酬</td> <td>647千円</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>需用費</td> <td>393千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>（消耗品</td> <td>120千円）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>（灯油代</td> <td>120千円）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>（電気料</td> <td>50千円）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>（水道料</td> <td>38千円）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>（下水道料</td> <td>15千円）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>（修繕料</td> <td>50千円）</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>役務費</td> <td>120千円</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>委託料</td> <td>34千円</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>使用料</td> <td>13千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td>1,207千円</td> </tr> </table>			1	報酬	647千円	2	需用費	393千円		（消耗品	120千円）		（灯油代	120千円）		（電気料	50千円）		（水道料	38千円）		（下水道料	15千円）		（修繕料	50千円）	3	役務費	120千円	4	委託料	34千円	5	使用料	13千円		合計	1,207千円
1	報酬	647千円																																					
2	需用費	393千円																																					
	（消耗品	120千円）																																					
	（灯油代	120千円）																																					
	（電気料	50千円）																																					
	（水道料	38千円）																																					
	（下水道料	15千円）																																					
	（修繕料	50千円）																																					
3	役務費	120千円																																					
4	委託料	34千円																																					
5	使用料	13千円																																					
	合計	1,207千円																																					

令和8年度 事業概要書		所管課	管理課															
事業名	小学校多様な学び推進事業	予算書	160頁															
事業費	1,885千円																	
財源内訳	特 定 財 源 の 内 訳																	
	名 称	金 額																
	特 定 財 源 合 計																	
	一 般 財 源			1,885														
事業概要	<p>ふるさとへの愛着と誇りを育むふるさと学習、総合的な学習の時間に対して交付金を支給、スキー学習の指導員への報酬やリフト代の助成、皆空窯を利用した陶芸教室を実施し、子どもたちの多様な学びを推進する。</p>																	
事業内容・効果等	<p>○目的・効果 多様な学びの推進より生涯にわたるキャリア発達の土台を築き、主体的に人生を設計する力を育むことができる。</p> <p>○内容・計画</p> <p>1 ふるさと学習 (1) 小学3年生：自然探索 (2) 小学4年生：防災教育、命の教育 (3) 小学5年生：ジオパーク教育 (4) 小学6年生：地域資源の活用と情報発信</p> <p>2 総合的な学習の時間 田植えなどの農業体験、登山、すずらん大学との交流等</p> <p>3 スキー学習 1～6年生を対象に年2回実施</p> <p>4 陶芸教室 6年生を対象に実施</p> <p>○費用内訳</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">1</td> <td style="width: 85%;">報償費</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">542千円</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>需用費</td> <td style="text-align: right;">318千円</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>使用料及び賃借料</td> <td style="text-align: right;">405千円</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>負担金補助及び交付金</td> <td style="text-align: right;">620千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: right;">合計</td> <td style="text-align: right;">1,885千円</td> </tr> </table>			1	報償費	542千円	2	需用費	318千円	3	使用料及び賃借料	405千円	4	負担金補助及び交付金	620千円	合計		1,885千円
1	報償費	542千円																
2	需用費	318千円																
3	使用料及び賃借料	405千円																
4	負担金補助及び交付金	620千円																
合計		1,885千円																

令和8年度 事業概要書		所管課	管理課												
事業名	中学校多様な学び推進事業	予算書	164頁												
事業費	1,634千円														
財源内訳	特定財源の内訳														
	名称	金額													
	特定財源合計														
	一般財源	1,634													
事業概要	<p>企業や大学との連携や職場体験を通じたキャリア教育、総合的な学習の時間に対して交付金を支給、スキー学習の指導員への報酬やリフト代の助成、皆空窯を利用した陶芸教室、レストランアスペルジュでの食体験を実施し、子どもたちの多様な学びを推進する。</p>														
事業内容・効果等	<p>○目的・効果 多様な学びの推進より生涯にわたるキャリア発達の土台を築き、主体的に人生を設計する力を育むことができる。</p> <p>○内容・計画</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 キャリア教育 <ol style="list-style-type: none"> (1) 中学1年生：農業・産業観教育、防災教育 (2) 中学2年生：職業観教育、生命観教育 (3) 中学3年生：総括、食体験 2 総合的な学習の時間 体育祭や文化祭、進路ガイダンス、職場訪問等 3 スキー学習 1～2年生を対象に年2回実施 4 陶芸教室 1年生を対象に実施 5 食体験 3年生を対象に実施 <p>○費用内訳</p> <table border="0"> <tr> <td>1 報償費</td> <td>649千円</td> </tr> <tr> <td>2 旅費</td> <td>47千円</td> </tr> <tr> <td>3 需用費</td> <td>410千円</td> </tr> <tr> <td>4 使用料及び賃借料</td> <td>217千円</td> </tr> <tr> <td>5 負担金補助及び交付金</td> <td>311千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,634千円</td> </tr> </table>			1 報償費	649千円	2 旅費	47千円	3 需用費	410千円	4 使用料及び賃借料	217千円	5 負担金補助及び交付金	311千円	合計	1,634千円
1 報償費	649千円														
2 旅費	47千円														
3 需用費	410千円														
4 使用料及び賃借料	217千円														
5 負担金補助及び交付金	311千円														
合計	1,634千円														

令和 8 年度 事業概要書		所 管 課	建設水道課水道整備室	
事業名	スマートメーター導入事業		予算書	231・235 頁
事業費	52,767千円			
財源内訳	特 定 財 源 の 内 訳			
	名 称			金 額
	地域未来交付金			26,300
	デジタル活用推進事業債			25,200
	特 定 財 源 合 計			51,500
	一 般 財 源			1,267
事業概要	水道利用者が利用状況や料金をいつでも把握できる環境を整備するとともに、自動で正確な検針データを取得することで利用状況を早期に反映できる仕組みを構築するため、スマートメーターを導入する。			
事業内容・効果等	<p>○目的・効果 水道利用者が利用状況や料金がいつでも把握できる環境となることで利便性向上を図るとともに、異常な水量使用の早期把握により、漏水や操作ミス等での高額請求へのリスク低減を図る。</p> <p>○内容・計画 令和 8 年度 1 水道スマートメーター（自動検針システム）導入 2 Web通知システム構築 3 スマートメーター（無線端末）購入設置 4,900 台</p> <p>○実績・経過 令和 7 年度 町内 8 箇所にスマートメーター試験設置</p> <p>○費用内訳 1 委託費 2,200 千円 2 工事請負費 16,170 千円 3 固定資産購入費 34,397 千円</p> <p>○その他参考事項 ・地域未来交付金率 2 分の 1 ・事業債充当率 2 分の 1</p>			

令和8年度 事業概要書		所管課	建設水道課水道整備室
事業名	下水道台帳電子化業務	予算書	266頁
事業費	29,865千円		
財源内訳	特 定 財 源 の 内 訳		
	名 称		金 額
	社会資本整備総合交付金		12,500
	特 定 財 源 合 計		12,500
	一 般 財 源		17,365
事業概要	下水道台帳図や竣工図等の情報をデジタルデータ化し、一元的に管理・閲覧できる基盤を整備する。		
事業内容・効果等	<p>○目的・効果 下水道施設に関する情報が複数の媒体・様式で保管されている状況を踏まえ、必要な施設情報へ即時にアクセスできる管理体制を構築することで、災害時の事故対応や住民・事業者への窓口対応の迅速化、資料探索・照会対応時間の削減による維持管理業務の効率化、施設データの整合性向上による更新計画の精度向上を図る。</p> <p>○内容 1 既存資料の収集・整理（交付金対象） 2 台帳の電子化(データ作成)（交付金対象） 3 下水道台帳システムの構築（交付金対象外） 4 システムパソコン導入（交付金対象外）</p> <p>○費用内訳 1 有形固定資産購入費 363千円（システム用パソコン購入費） 2 無形固定資産購入費 29,502千円(委託料)</p> <p>○社会資本整備総合交付金率 交付対象経費の2分の1</p>		

令和 8 年度 事業概要書		所 管 課	病院事務局																
事業名	医療機器購入一式		予算書	325頁															
事業費	25,245千円																		
財源内訳	特 定 財 源 の 内 訳																		
		名 称	金 額																
		一般会計負担金（過疎債）	12,000																
		企業債（病院事業債）	12,100																
		特 定 財 源 合 計	24,100																
	一 般 財 源	1,145																	
事業概要	<p>本町の医療機能の維持及び安定した診療体制を確保するため、耐用年数を超過する医療機器を更新する。</p> <p>また、患者サービスの充実及び向上のため、既設ネットワークシステムの機能拡充を行う。</p>																		
事業内容・効果等	<p>○目的 耐用年数を超過する医療機器の更新及び既設ネットワークシステムの機能拡充を行い、医療提供の充実を図るとともに、患者サービスの向上を図る。</p> <p>○内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 間接変換 FPD 装置（平成 22 年購入） 2 ベッドサイドモニター（平成 25 年購入） 3 薬局服薬病棟業務システム（令和 5 年購入 機能拡充） 4 血液ガス分析装置（平成 26 年購入） <p>○費用内訳</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">1 備品購入費</td> <td style="width: 80%;">25,245 千円</td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td>（1）間接変換 FPD 装置</td> <td>5,104 千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>（2）ベッドサイドモニター</td> <td>15,950 千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>（3）薬局服薬病棟業務システム</td> <td>3,135 千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>（4）血液ガス分析装置</td> <td>1,056 千円</td> <td></td> </tr> </table> <p>○起債対象及び充当率</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 起債対象 耐用年数 5 年以上 2 充当率 2 分の 1 <p>※血液ガス分析装置（耐用年数 4 年）対象外</p>				1 備品購入費	25,245 千円		（1）間接変換 FPD 装置	5,104 千円		（2）ベッドサイドモニター	15,950 千円		（3）薬局服薬病棟業務システム	3,135 千円		（4）血液ガス分析装置	1,056 千円	
1 備品購入費	25,245 千円																		
（1）間接変換 FPD 装置	5,104 千円																		
（2）ベッドサイドモニター	15,950 千円																		
（3）薬局服薬病棟業務システム	3,135 千円																		
（4）血液ガス分析装置	1,056 千円																		